

# 麦 笛 (第 66 号 令和 7 年 10・11 月)



## 公立保育園 2 園廃園決議と民間保育園の願い

9 月 25 日 (木) 午後 6 時過ぎに、小金井市議会にて、**公立のさくら保育園と、くりのみ保育園の段階的廃園、その他の 3 園も段階的に定員を縮小することが決まりました。**合わせて、**医療的ケア児や支援や配慮の必要なお子様を積極的に公立保育園が受け入れを行うこと。誰でも通園制度の実施や、公立保育園と民間保育園の職員の交流・研修等を行うこと等が条例に盛り込まれました。**これは 30 年以上審議されていたことで画期的な決議です。

全公立保育園は築 40 年以上を経過し (けやき保育園除く) 建て替えの時期にきています。その他にも市内の小学校、図書館、公民館等ハードの修繕や建て替えも急務ですが実施できていない状況です。学童も受け入れ人数の増加により学校内の空き教室を使用しているところもあります。児童発達支援センターきらりについても、もう一つ施設ができるよう望まれています。この決議はこのようなことと、小金井市の財政難や少子化の影響からの廃園という考えもあるかもしれません。

私たち小金井市民間保育園が公立保育園に望んでいることは、他市のような公立保育園のあるべき姿を再認識し、担ってほしいということが一番の願いです。民間保育園が積極的に実施している支援や配慮の必要なお子様や、アレルギーのあるお子様の受け入れ、緊急一時預かり等を公立園でさらに充実させ、特に障害のあるお子様は 3 歳以上でなければ受け入れできない等の条件の撤廃を強く望んでいます。

市内の歴史のある社会福祉法人の保育園は昭和の時代から、生活に困窮するご家庭や支援の必要なお子様の受け入れを積極的に行ってきました。私も小学生の頃、朝ごはんを食べていないお子様におにぎりを食べさせたり、自家用車でご自宅までお子様をお迎えに行ったりしている両親を見ながら育ちました。公立・民間問わず、協力・交流し、小金井市の子ども達のために一緒に歩んでいきたいと切に願います。

### 季節のテーブル 担当:北山、大池、清水、岩堀

くじら組さんの染物体験を行いました。ご家庭から集めた玉ねぎの皮を使い、プレイデーで使用する手ぬぐいを染めました。手ぬぐいを輪ゴムで縛り模様を付け、玉ねぎの皮を煮ると、透明だった水がだんだんと茶色に変わっていきました。その様子を間近で観察し、お鍋から漂ってきた匂いを嗅いなくじらさんたちは『なんかいい匂いがする!』と目をキラキラさせ、染め上がるのを待ち望んでいました。



染め上がった手ぬぐいを広げると、一人ひとり違った、個性あふれる模様が出来ているのを見て『うわあ!すごい!』と嬉しそうでした。

染めた手ぬぐいはプレイデーで使用します。楽しみにしていて下さい。ご協力ありがとうございました。